平均 一時−4.8%　キオクシア 一時−13%超　フジクラ −8.2%　古河電工 −9%　ソフトバンクG 約−7%　アドバンテスト 一時−6.4%　東京エ

2026年11月4日（水）版　株ちゃんのHTML説明資料

トランプ大敗で株はどうなる？

中間選挙の結果／過去のねじれと株価
今後のポイント／半導体の暴落は止まるか



62,188.63円（−1.42%）　|　ナスダック100先物 一時−2.4%→プラス転換　|　AMD 時間外+5%　|　米10年債利回り 4.92%　|　米中間選挙　民主党が上院・

本題の前に、お知らせです

AIで株式投資を分析する講座を、2つやっています

DMM 生成AI CAMP
生成AI株式投資分析コース

公式サイト

- ✓ 2026年9月30日開講・講師を担当
- ✓ 決算短信をAIに読ませる手順
- ✓ 動画で順番に学べる

Udemy
ChatGPT×Claude 株式投資講座

応用講座

- ✓ 実践講座は★4.4・受講894人
- ✓ プロンプトをそのまま使える
- ✓ 買い切りで何度でも見られる



本題の前にお知らせです。左が私が講師をしている**DMM 生成AI CAMP**、右がUdemyの講座です。どちらも、決算や相場をAIに読ませる手順を、画面を見ながら学べます。QRから中身を見てみてください。



はじめに

3つの質問に、順番に答えます

何が起きた？
上院・下院の議席と
11月4日の株価

→

過去は？
ねじれ議会7回の
12か月後のS&P500

→

次は何を見る？
半導体の下げが
止まるサイン4つ

※投資助言ではありません。売買の最終判断はご自身でお願いします。数字は2026年11月4日時点の報道で、選挙は集計途中です。



きょうは**3つの質問**に順番に答えます。まず何が起きたか、次に過去のねじれで株がどうなったか、最後に半導体の下げが止まるサインです。数字は11月4日時点の報道で、選挙はまだ集計の途中です。

目次

4つの章で見ていきます

01

中間選挙の結果

どれくらい負けた？
市場はどう反応した？

02

過去のねじれと株価

ねじれの後、
株は上がった？

03

今後のポイント

何が変わる？
いつ何を見る？

04

半導体の暴落は止まる？

なぜ下げた？
止まるサイン は？



目次です。1章で選挙の結果、2章で過去の**ねじれと株価**、3章で今後のポイント、4章で半導体の話をします。いちばん聞きたいのは4章だと思うので、そこに向けて材料をそろえていきます。

01

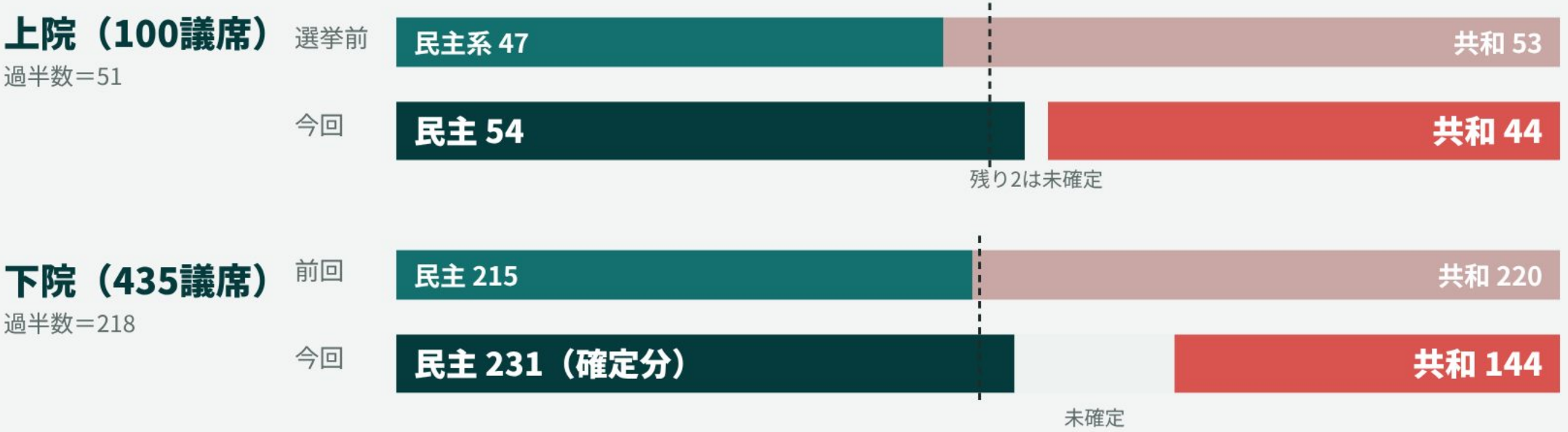
中間選挙の結果



どれくらい負けた？　市場はどう反応した？

議席の結果

民主党が上院・下院の両方で過半数を取りました



ねじれ 大統領の党と、議会の多数派の党が違う状態

出典：上院＝Yahoo News（AP集計）、Ballotpedia。下院＝NBC News Decision Desk（確定231・共和144、最終推計は民主258）、Wikipedia（前回2024年選挙）。2026年11月4日時点・集計途中



まず議席です。上院は民主党が**54**、共和党が44で、過半数の51を超えました。下院も確定分だけで民主党が**231**と、過半数の218を大きく超えています。大統領は共和党、議会は民主党という**ねじれ**の形になります。

なぜ大敗？

3つの不満が重なり、共和党の地盤でも負けました

大統領の支持率

38% 出口調査

中間選挙で過去最低の可能性

イランとの戦争と原油高

103ドル ブレント原油

トランプ氏も敗因の一つと認めた

物価とデータセンター

29対1 規制に賛成が多数

住民投票（拘束力なし）の結果

**上院で7州を奪還：アイオワ・カンザス・メイン・オハイオ
ノースカロライナ・サウスカロライナ・テキサス**

出典：CBS News（出口調査38%）、TipRanks（ブレント102.82ドル、11/4朝）、Reuters（トランプ氏の発言）、CNBC（ビアンコ・リサーチの集計29対1）、NBC News（7州）、TIME（両院を奪うのは第二次大戦後5回目）



なぜここまで負けたのか。左は大統領の支持率が**38%**という出口調査、真ん中はイランとの戦争と原油高、右は物価とデータセンターへの反発です。3つが重なって、テキサスやカンザスのような**共和党の地盤**でも上院の議席を失いました。

市場の初動（日本時間11月4日）

朝は売られ、昼からは半分以上を取り戻しました

① 開票が進む（朝）

AI株が一斉に売られる

−2.4%

ナスダック100先物の
最大の下げ

−4.8%

日経平均の
取引時間中の最大の下げ

→

② 流れが変わる

トランプ氏が結果を容認

「政治の混乱が長引く」心配が薄れる

+6%

AMDが好決算で時間外に上昇
（1株利益2.09ドル、予想1.95ドル）

→

③ 引けにかけて

下げ幅が縮む

−1.42%

日経平均の終値
62,188.63円

プラス

米株先物は上げに転じる

出典：Reuters（Kitco・Yahoo Finance経由）、Bloomberg・Reuters（Capacity誌経由）、AJP（終値）、TipRanks（AMD）。2026年11月4日



市場の動きを時間順に見ます。朝は日経平均が一時**4.8%**下げ、AIと半導体が集中して売られました。トランプ氏が結果を受け入れ、AMDの好決算も出て、日経は終値で**−1.42%**まで戻しています。

02

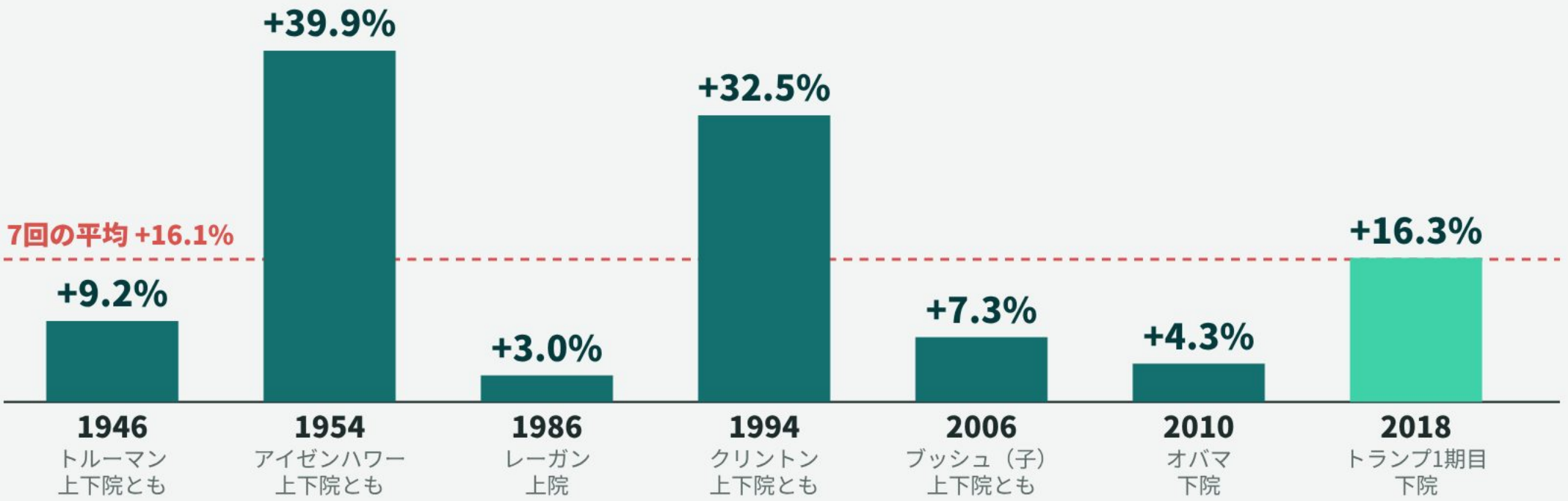
過去のねじれと株価



ねじれの後、株は上がった？

中間選挙でねじれた7回（1946年以降）

12か月後のS&P500は、7回ともプラスでした



出典：The Motley Fool（ロバート・シラーの月次データでの選挙後12か月リターン）。7回の平均は資料作成者の計算（112.5÷7）。下の小さな字＝大統領の党が失った議院



ここからは歴史です。第二次大戦後、中間選挙で議会がねじれたのは7回。選挙から12か月後のS&P500は**7回ともプラス**で、平均は**+16.1%**でした。いちばん右のミント色が、トランプ1期目の2018年です。

1874年以降の38回で比べると

「共和党の大統領＋ねじれ」は平均+18%でした

中間選挙の後の形	12か月後の平均	プラスの割合	回数
共和党の大統領＋ねじれ（今回）	**+18%**	**93%**	**14**
民主党の大統領＋ねじれ	**+13%**	**89%**	**9**
共和党が大統領と両院を独占	**−1%**	**43%**	**7**
民主党が大統領と両院を独占	**+23%**	**100%**	**8**
すべての中間選挙	**+14%**	**84%**	**38**

ねじれが好まれる理由

法案が通りにくくなり、**政策の急な変更が減る**。
「次に何が決まるか」を読みやすくなる。

一方で、負けた議席の多い少ないと、その後の株価の関係はほとんど見られない（Fool）。

出典：The Motley Fool「Midterm Election Year Stock Market History」（S&P500、シラー月次データ、1874〜2022年の38回）、CAPTRUST（2022年11月の解説）



もっと長い1874年からの38回で比べると、今回と同じ**共和党の大統領とねじれ**の組み合わせは、平均+18%、プラスの割合は93%でした。法案が通りにくくなり、**政策の急な変更が減る**ことが好まれると言われています。

注意点

株を決めたのは、選挙より「その後の景気と金融」

	ねじれた中身	12か月後のS&P500	その間に起きたこと
2018年 トランプ1期目	民主党が下院を奪還	**+16.3%** 3か月後は+1.7%	はじめの3か月は伸び悩み、その後に上昇
1986年 レーガン	民主党が上院を奪還	**+3.0%** 6か月後は+19.7%	1987年10月の暴落（ブラックマンデー）で上げを吐き出す
2006年 ブッシュ（子）	民主党が上下院とも奪還	**+7.3%** 6か月後は+9.8%	2007年夏から住宅ローン問題が広がり、金融危機へ

選挙後1か月 平均+0.5%・プラスは55%（伸びにくい）

出典：The Motley Fool（3・6・12か月リターン、選挙後1か月の平均）。1987年・2007年の出来事は一般に知られた史実



ただし注意点があります。1986年は12か月後+3.0%にとどまり、2006年もその後に金融危機が来ました。株を動かしたのは、選挙そのものより**その後の景気と金融**です。選挙後1か月の平均は**+0.5%**と、すぐには伸びにくい点も覚えておいてください。

03

今後のポイント



何が変わる？　いつ何を見る？

ねじれで変わること

止まるのは「新しい法律」、強まるのは「チェック」

法案が通りにくい

民主党の法案には大統領の拒否権
共和党の追加減税・関税の法律化も
議会を通りにくくなる

政権への調査が増える

下院の委員会が調査の権限を持つ
民主党は「調査」と「物価対策」を
重点に挙げている

2027年1月から
ねじれ議会
大統領＝共和／議会＝民主

日本への要求

政権が同盟国に防衛費の負担を
もっと求める可能性
（Bloomingbitの報道）

AI・データセンター規制

建設の審査、電力の使い方、
半導体の輸出規制が見直しの的に
半導体株にいちばん効く

出典：Reuters（拒否権・規制の見通し）、NBC News（民主党の重点）、BigGo Finance（AI規制・輸出規制・電力政策）、Bloomingbit（防衛費）。新議会の開始は2027年1月



ねじれで何が変わるかです。真ん中が2027年1月からのねじれ議会。左上、新しい法律は**通りにくく**なります。右上、政権への調査が増えます。そして右下、半導体株にいちばん効くのが**AI・データセンター規制**の話です。

次に見る日

半導体の行方は、この3つの日でわかります

1

11月18日（水）

米国時間・予定（会社は未確定）

エヌビディアの決算

AI向けの売上の見通しが、市場の予想を上回るか

2

12月8〜9日（火・水）

米国時間・FOMC

アメリカの金利の会合

10年債利回り4.92%から下がる道筋が見えるか

3

2027年1月

新しい議会がスタート

最初に出る法案の中身

データセンター規制が「住民投票」から「法案」になるか

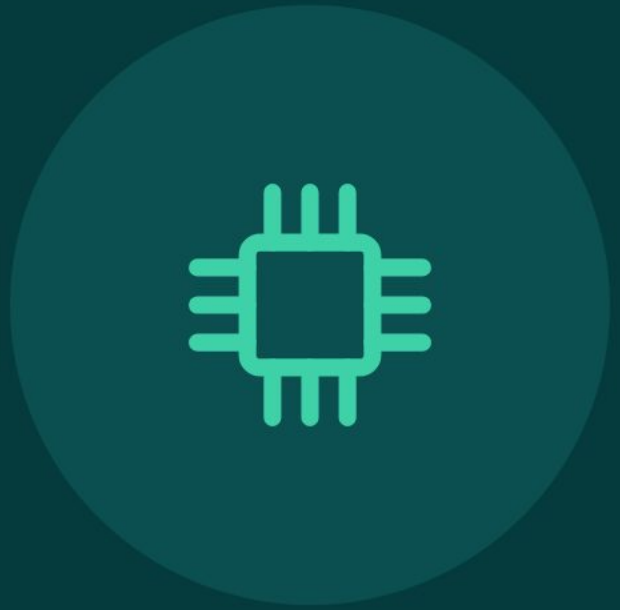
出典：Financecalendar・days.to（エヌビディア決算の予定日）、米連邦準備制度理事会（2026年12月の会合日程）、TipRanks（10年債4.92%・11/4朝）



次に見る日は3つです。1つ目は11月18日予定の**エヌビディア決算**。2つ目は12月8日から9日の**FOMC**で、金利が下がる道筋が見えるか。3つ目は1月の新議会で、データセンター規制が本当に法案になるかです。

04

半導体の暴落は止まる？



なぜ下げた？　止まるサインは？

SOX指数（米国の半導体株指数）

10月6日の高値から約22%下げ、11月3日に反発



10月6日＝100とした模式図（途中の細かい動きは省略）。出典：Yahoo Finance（11/2終値は10/6高値の約22%下、11/3日中+2.63%）、Yahoo Finance・Gate（8日続落）、Trustnet（年初来+60%超）



SOX指数の動きです。10月6日の高値から、10月16日には2008年以来の**8日続落**。11月2日には高値から約**22%**下げ、200日線も割り込みました。ただ11月3日は反発していて、年初からはまだ6割以上の上昇です。

なぜ下げた？

選挙は「追い打ち」。下げは選挙の前から始まっていた

① 金利が高い

4.92%

米10年債利回り（11/4朝）
原油高でインフレの心配

② 上がりすぎた

約2倍

3月下旬からのSOXの上げ
（チャールズ・シュワブ）

③ AI投資の元は取れる？

巨額

データセンターの建設費に
見合う利益が出るか疑問

推論

④ 選挙（追い打ち）

規制

データセンター建設に
ブレーキがかかる心配

SOX指数　6月23日→11月2日で −21.3%

同じ期間の世界株は−1.2%（半導体だけが大きく下げた）

出典：Bloomberg（金利・割高さ・AIインフラ費用への懸念）、TipRanks（10年債）、Charles Schwab（3月下旬から約2倍）、FE Analytics（Trustnet・ICO Optics経由）。④の重みは資料作成者の推論



なぜ下げたのか。上の4つの理由のうち、①金利、②上がりすぎ、③AI投資の採算は、**選挙の前から**ありました。④の選挙は**追い打ち**です。その結果、6月からの下げは**−21.3%**になりました。

止まるサイン

4つのうち、そろったのはまだ1つです

そろった

決算が予想を上回る

2.09ドル

AMDの1株利益（予想1.95ドル）。2027年の伸びも上方修正

まだ

200日線を取り戻す

約477ドル

半導体ETF（SOXX）の200日移動平均線。上で引けるか

11/18

エヌビディアの見通し

次の3か月

売上の見通しが、市場の予想を上回るか

12/9

金利が下がり始める

4.92%

米10年債利回り。ここから下がるか

推論

選挙のショックは1日で半分以上戻した。下げが止まるかどうかは、選挙ではなく「金利」と「AI投資の採算」で決まる、と私は見ています。

出典：TipRanks・Reuters（AMD）、Yahoo Finance（SOXXの200日線 約477ドル）、TipRanks（10年債）。下の枠は資料作成者の推論



では止まるのか。私が見るサインは4つです。決算が予想を上回る、はAMDで**そろいました**。残りは、SOXXが200日線の**約477ドル**を取り戻すか、エヌビディアの見通し、そして金利です。そろうまでは、反発しても戻りかどうかを疑って見ます。

まとめ

きょうの話を、1枚にするとこうなります

選挙
民主党が上院54・下院231（確定分）。2027年1月から**ねじれ**

→

歴史
ねじれ7回、12か月後のS&P500は**7回ともプラス**（平均+16.1%）

→

半導体
SOXは6月から−21.3%。選挙は追い打ちで、本丸は**金利と採算**

→

次に見る日
11月18日 エヌビディア
12月9日 FOMC



まとめです。選挙で**ねじれ**が決まり、歴史では12か月後は7回ともプラス。ただ半導体は、選挙より**金利と採算**で動いています。次に見るのは**11月18日**と**12月9日**です。

AIで自分でも確かめる

このプロンプトを、ChatGPTかClaudeに貼るだけ

あなたは米国株と日本株のアナリストです。2026年11月の米中間選挙で民主党が上院・下院を制しました。
① 中間選挙でねじれ議会になった年（1946・1954・1986・1994・2006・2010・2018）について、選挙後12か月のS&P500の騰落率と、その間に起きた景気・金利の出来事を表にしてください。
② 今回のねじれで影響が大きい政策（関税、減税、AI規制、データセンター建設、半導体の輸出規制）を、半導体株への向き（＋／−）と根拠つきで整理してください。
③ SOX指数の下げが止まったと判断できる数字を3つ挙げ、最新の値を調べて出典と取得日つきで示してください。
売買の推奨はしないでください。わからない数字は「不明」と書いてください。

コピー

①は年を指定。AIが勝手に年を選ぶと、ねじれでない年が混ざる

②は＋／−の向きで答えさせる。長い作文を防ぐ

③は出典と取得日を必ず出させる。古い数字を見抜ける



このプロンプトを貼ると、きょうの話をAIで確かめられます。ポイントは右の3つで、とくに**出典と取得日**を必ず出させてください。AIは古い数字をもっともらしく出すことがあるからです。



自己紹介

株ちゃん

AI×株式投資｜株ちゃん投資情報 管理人

約1.3万人
YouTube登録者

★4.4
Udemy実践講座（受講894人）

30冊超
Kindle本

講座：DMM 生成AI CAMP 講師／Udemy

発信：AIに決算を読ませ、数字と日付で判断する手順

モットー：大切な資産を着実に増やし、投資も楽しむ

LINE：株ちゃん投資情報（@816xbznh）

※投資助言ではありません。数字は2026年10月時点。

改めまして、株ちゃんです。AIに決算を読ませて、**数字と日付で判断する**手順を発信しています。きょうの内容は情報の提供で、**投資の判断は、ご自身でお願いします**。

最後に、お知らせです

続きは講座と公式LINEで

DMM 生成AI CAMP 生成AI株式投資分析コース

- ✓ 講師を担当
- ✓ 決算短信をAIで読む
- ✓ 動画で順番に学べる

Udemy ChatGPT×Claude株式投資

- ✓ 実践講座★4.4
- ✓ プロンプトをそのまま
- ✓ 何度でも見られる

公式LINE 無料プレゼント20点

- ✓ 20点すべて無料
- ✓ 名前・メール入力なし
- ✓ 届くのは月2回まで



最後にお知らせです。講座が2つと、公式LINEでは**無料プレゼント20点**を配っています。名前もメールも入力なしで受け取れます。**ご視聴ありがとうございました**。